

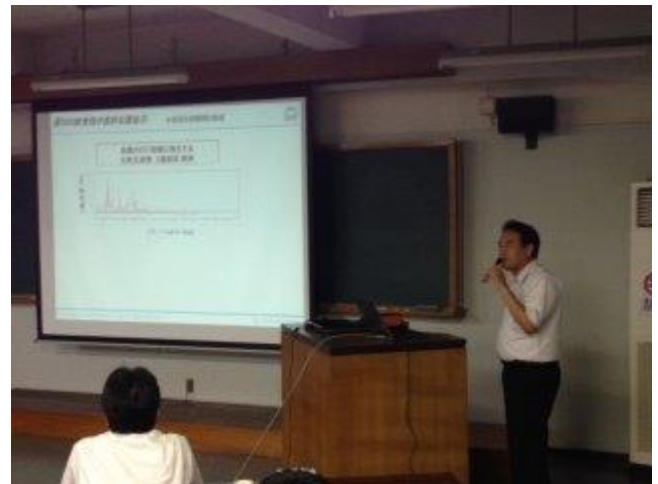
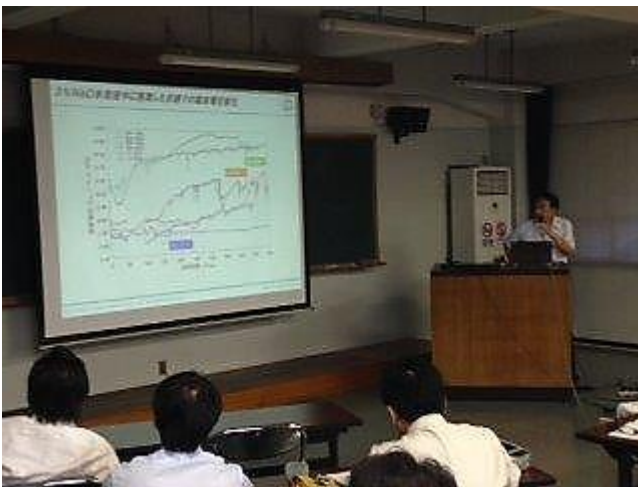


# 名 鍍 会 報 告

H26. 8

平成26年6月25日（水）、鍍金会館2階講堂において6月度例会が開催されました。「亜鉛 - ニッケル合金について」をテーマに、ディップソール株式会社の井上 学 様より製品紹介をしていただきました。

現状の亜鉛 - ニッケル合金めっきは低ニッケルがよく使われていますが、耐食性の向上を求めるユーザーが多いため、高ニッケルタイプの亜鉛 - ニッケル合金めっきの新製品を開発し、耐食性、曲げ加工後の耐食性が、亜鉛フレーク処理、低ニッケル亜鉛 - ニッケル合金めっきより優れていると紹介していただきました。



もう一つとして、高ニッケルタイプの均一電着性に優れた亜鉛 - ニッケル合金めっきを紹介していただきました。低電部の電着を助け、高電部の電着を抑えてめっきすることにより製品の表裏、陰になる部分に均一につけることができると紹介していただきました。

今回の製品紹介を聞いて思ったのは、亜鉛めっきの防錆皮膜が6価クロメートから3価クロメートに変わって耐食性が落ちたことにより、めっき以外のいろいろな防錆処理は出ましたが、最終的には海外ユーザーの流れからしても、高ニッケル - 亜鉛合金めっきに落ち着いてくるのではないかと思います

R. I 記